

# 3 震災30年にちなんだ展覧会を開催中

## 県立美術館

### 阪神・淡路大震災30年 企画展 1995 ⇄ 2025 30年目のわたしたち

30年の間に、世界は多くの自然災害や紛争に見舞われてきました。こんな時代に求められる希望とは一。簡単には答えの出ない問いについて考えます。

③3月9日④まで10時～18時※月曜(祝休日の場合は翌平日)休館 ⑦県立美術館(神戸市中央区) ①一般1,600円、大学生1,000円、70歳以上800円、高校生以下無料 ②同館 ③078-262-1011 ④078-262-0903

兵庫県立美術館



米田知子《震源地、淡路島》1995年 国立国際美術館蔵

©Tomoko Yoneda/Courtesy of ShugoArts

6組7人のアーティストによるグループ展。展覧会という場に集う「希望」を感じてください。(同館課長 岩本純佳さん)



## 県立歴史博物館

### 阪神・淡路大震災30年 特別展 阪神・淡路大震災を伝える・知らせる -情報と通信の1990年代-

被災、支援、復興に関わる事柄について、人々がどのように社会へ伝え、共有しようとしたのかを、1990年代の情報と通信の在り方から考えます。

①1月11日④～3月16日④10時～17時※月曜(祝休日の場合は翌平日)休館 ⑦県立歴史博物館(姫路市) ①一般1,000円、大学生700円、70歳以上500円、高校生以下無料 ②同館 ③079-288-9011 ④079-288-9013

兵庫県立歴史博物館

震災時に使われたもの、作られたものの展示を通じて、当時の社会を考えるきっかけにしてほしいです。(同館学芸員 吉原大志さん)



長田区役所前に設置された夜間特設公衆電話(1995年1月26日撮影、人と防災未来センター所蔵)



神戸市役所に設置された臨時の無料電話コーナーから電話をかける人々(1995年2月5日大木本美通さん撮影、神戸大学附属図書館震災文庫所蔵)

県立ミュージアムでは、震災30年を記念した特別展や企画展を実施しています。災害や復興に対する各施設の思いが伝わる催しに足を運びませんか。(文 本紙編集部)

## 人と防災未来センター

### 1995.1.17から30年。あらためて知る 阪神・淡路大震災～30年を振り返り未来を展望する30コラム展～(第2期)

「『避難所』は進化したか」「創造的復興とは何か。その歩み30年」など30のテーマ別に、これまでの歩みや今後の展望などを伝えます。県立兵庫津ミュージアムでも同タイトルの特別展示(サブタイトル～そのとき・あゆみ・みらい～)を実施。

▶人と防災未来センター(神戸市中央区)

③1月4日④～3月30日④9時30分～17時30分※月曜(祝休日の場合は翌平日)、2月22日④～24日④休館 ①一般600円、大学生450円、70歳以上300円、高校生以下無料 ②同センター ③078-262-5050 ④078-262-5055

人と防災未来センター

▶県立兵庫津ミュージアム(神戸市兵庫区)

③1月19日④まで9時～17時※月曜(祝休日の場合は翌平日)、1月1日④休館 ①無料 ②同ミュージアム ③078-651-1868 ④078-651-1869

兵庫津ミュージアム

2会場で行うことで、より多くの方が改めて震災を知り、自然災害への備えにつなげることができたらうれしいです。(副センター長 須貝正俊さん)

アーティストの立場から震災復興に尽力した足跡をご覧ください。(同館館長補佐 山本淳夫さん)

## 横尾忠則現代美術館

### Yokoo 1995 - 阪神・淡路大震災30年

被災地を元気づける展覧会やチャリティー・ポスターの企画に参加するなど、復興に尽力した活動を5点の作品(複製)とインタビュー映像で振り返ります。

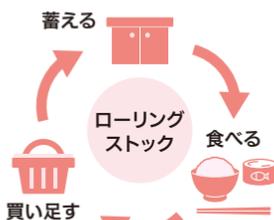
③1月17日④～5月6日④10時～18時※月曜(祝休日の場合は翌平日)休館 ⑦横尾忠則現代美術館(神戸市灘区) ①無料 ②同館 ③078-855-5607 ④078-806-3888

横尾忠則現代美術館

ひょうごのSDGs | 県や県内の企業・団体が進めるサステナブルな活動を紹介

# 4 食べて、買い足して、蓄えて ローリングストックを始めよう

ローリングストックをご存じですか。普段食べている食品を多めに買って蓄え、食べた分を買い足していく備蓄方法です。例えば、1週間分の食料をまとめて買って置き、賞味期限の早いものから食べ、消費した分を買い足せば、常に1週間分の食料を備蓄できます。賞味期限切れを防げるため廃棄が少なくなり、SDGsにも貢献。日々の生活の中で、おいしく楽しく災害に備えましょう!



ひょうご備蓄キャンペーン マスコット びちっく

ひょうご備蓄キャンペーンとして、皆さんから届いた「我が家の備蓄(びちっく)」写真を県ホームページで紹介するほか、県内のスーパー等に掲示します(1月中旬～)。

④県防災支援課 ③078-362-4339 ④078-362-4459 ひょうご備蓄キャンペーン

# 5 南海トラフ巨大地震に備える 県内初の津波対策専用の水門が完成

南海トラフ巨大地震による津波被害が想定される南あわじ市。本庄川の河口に当たる阿万港に昨年9月、県内初となる津波対策専用の「本庄川水門」が完成しました。全国瞬時警報システム(Jアラート)と連動して津波警報や大津波警報の発令時に自動で扉を閉鎖し、津波が河川を遡上することを防ぎます。同時期に整備した防潮堤と合わせて、M8.4の想定地震動で発生する「レベル1津波」において、200戸以上の床上・床下浸水の被害を解消します。さらに、M9.0クラスの想定地震動で発生する「レベル2津波」に対しては浸水面積を約4割縮減します。(淡路県民局 洲本土木事務所河川砂防課)



水門の高さは約30m、扉の高さは約9.3m。最大約6mの津波に備えます。

④淡路県民局洲本土木事務所河川砂防課 ③0799-26-3214 ④0799-24-4533